

シェアリングエコノミーサービス「こころむすび」 事業概要

2022年8月9日

長野県 伊那市



伊那市は、地方創生推進交付金を活用した「地方創生アルカディア構想事業シェアリングエコノミー・イノベーション」事業の一環で、シェアリングエコノミーサービス「こころむすび」を株式会社アドヴァンスト・インフォメーション・デザイン（以下、AID）と開発しました。

これは、ICTを活用したクラウド上の地域コミュニティとして、限りある地域資源の有効活用や CO2 削減・環境活動などを推進し、豊かな自然や環境を守りながらここに暮らし続ける人をむすぶ、シェアリングエコノミーサービスです。ICTによる地域まるごとチーム化を目的に、子育て世代や高齢者、移住定住希望者等がサステナブルで豊かな暮らしを目指し、次の2つが共存するサービスです。

1. ニーズとシーズのマッチングを通じた地域互助を促進する市民力による持続可能なまちづくり
2. 2050年カーボンニュートラルの実現に向けた、地域住民等の環境活動の意識醸成や見える化

これらを実現するために「こころむすび」では主に3つの機能（たすけあい活動、コミュニティ活動、エコ活動）があり、利用者同士が直接やりとりすることで地域住民の困りごとを解決したり、コミュニティ内で情報交換したり、環境活動の啓発や可視化を行います。また、利用者がこれらの活動を行った際には「こころむすびポイント」が付与され、ポイント数に応じて環境に配慮した商品などと交換できる仕組みです。

ICTの急速な進化やコロナ禍において生活様式が大きく変わり、地域住民の困りごとや子どもをとりまく環境も変化してきています。また、食糧や水、エネルギーなどが自活できるまちであることの重要性が改めて見直され、地域や自然への想いも醸成されてきていると思われます。

こうしたなか、先端技術を活用し、市民一人ひとりの労力や資産などをいかした新たな支え合いや、地域外とのつながりを生み出すコミュニティを形成したり、子育て世代等がここに暮らし続けたいくなるまちの魅力発信やプラットフォームとして「こころむすび」を開発しました。

「子どものために何かしたい」「だれかに手伝ってほしい」「身近な環境を守りたい」――。そんな想いが詰め込まれ、届けあう場所です。人と人、人と自然とこころをむすぶやさしい場である「こころむすび」が、伊那市がすすめるまちづくりや多様で豊かな暮らしを維持しながら地域の成長につながる地域コミュニティの再構築を図ることを目指します。自治体としては非常に珍しい取り組みであり、今後、地域や企業等のみなさんにご協力いただきながら一緒に育てていけたらと思います。



【参考】全国的な流れと同様に伊那市でも人口減少に歯止めをかけ、地域の活性化につなげるため、移住定住に向けた様々な施策に取り組んでいます。また、「DXしあわせのまち宣言」を行い、新産業技術を活用して地域課題の解決や暮らしの豊かさの向上を目指しています。さらに、食糧、水、エネルギーが循環して地産地消する素地があり「伊那から減らそうCO2!!」のもと、「2050年カーボンニュートラル」の実現に向けて市民や産業界が一体となり推進しているほか、伊那市は「2021年SDGs未来都市」に選ばれており、SDGsの達成に向けた取り組みも注目されています。

「こころむすび」へのアクセス方法

- ① 伊那市公式 LINE「長野県伊那市」
<https://lin.ee/du5jMHd>

- ② URLからアクセス
<https://ina-heartful-sharing.jp/>

※伊那市公式ホームページや社協等の関係機関、などからアクセス。
今後、社協等の関係機関へのバナー掲載や協力企業等のHPのほか、エコ活動実施場所等にQRコードを掲載して多方面からアクセスできるようにします。

- ③ Google Play、App Store で「こころむすび」で検索してダウンロード



こころむすび

「こころむすび」の特徴

- ・会員登録や月額利用料が無料
- ・スマホやPCなど端末の種類によらず、いつでも気軽にアクセス可能
- ・環境活動の見える化によるユーザー体験を重視
- ・シェアエコとコミュニティ活動、環境活動が共存することで、利用者の各活動への興味をひろげるとともに、「こころむすび」の一体感を醸成

「こころむすび」でできること ※（ ）内は活動実施によるこころむすびポイント獲得数

- (1) 主な機能
- ① たすけあい活動...利用者同士でモノやスキルなどを譲り合う (30pt)
 - ② コミュニティ活動...誰でも立ち上げることができ、仲間同士やコミュニティ内で、自由に情報交換やイベント告知・PRなどができる
 - ③ エコ活動...日々のエコチェックやCO2削減の見える化ができる
(毎日のエコチェック: 1pt、電気量等の登録: 10~20pt、QRコード読込: 適宜)
- (2) 商品例 (50pt、300ptなどポイント数に応じて)
- ・エコバック ・麦ストロー ・地域材のワークショップ参加券
 - ・経木 ・ミツロウエコラップ ・エコを紹介する番組出演券 ・果物収穫体験券
 - ・SDGs貢献に関する商品 ・イーナちゃんグッズ など
- (3) 参加者全体の取り組みによるインセンティブ
- ・CO2削減量の総和をアカマツ1本の吸収量に換算したものにあわせて植樹
 - ・こころむすびポイントが定量に達した際に、カレー大作戦の食材などに提供

ご協力企業 (8月9日時点)

事業趣旨に賛同いただいた企業・団体等が「こころむすび」への参画や商品提供をいただいています。

- ・株式会社ニシザワ ・KOA株式会社 ・丸紅伊那みらいでんき ・伊那ケーブルテレビジョン
- ・伊那市ミドリナ委員会 ・みはらしファーム ・つなぐ里山 ・ワイルドツリー ・盛木材
- ・伊那市有線放送 ・アルプス中央信用金庫 ・NPO法人「森の座」

※そのほか、ご協力をご検討いただいている企業が複数あります。今後も随時お受けします。

地方創生アルカディア構想 (令和元年度~令和3年度)

移住定住促進や人口増加に向け、子育て世代等を対象にアメニティ定住プロジェクトとしてAIやLINE活用のほか生活適地への立地誘導、XR技術を活用した戦略的シティープロモーションなど各事業に取り組む。

シェアリングエコノミーサービス「こころむすび」(運用開始: 令和4年8月9日)

○令和3年度事業費 32,256,400円

(内訳: 地方創生推進交付金 50%、特別交付税 45%、伊那市負担 5%)

○受注事業者 株式会社 アドヴァンスト・インフォーメーション・デザイン

【本資料に関する問い合わせ】 企画部 地域創造課 人口増推進係 志知貴文 CN・浦野真由美
電話: 0265-78-4111 (内線 2155) mail: jkz@inacity.jp